

(説 明 用 資 料)

1. 報 告

(1) 令和2年度(令和元年度実施事業)八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業の効果検証について

※関連資料：資料1・参考資料1・参考資料2

説 明

---(資料1、参考資料1及び2)-----

- ・『資料1』は、令和元年度の総合戦略の取組事業を4つの基本目標毎にまとめたもの。
- ・『参考資料1』は『資料1』を基本目標毎に進捗状況が分かるようにまとめたもので、『参考資料2』は更に具体的な事業毎にまとめたものである。

---(参考資料1)-----

- ・基本目標1「産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり」には、4つの指標が掲げられている。「有効求人倍率」については、実績値が計画値を上回っているが、それ以外は計画値を下回り達成していない状況である。
- ・基本目標2「人や情報の交流による[住みやすさナンバー1のまち八潮]の発信」では、基本目標に掲げられている2指標のうち、「八潮市に住み続けたい人の割合」は、計画値を上回り達成をしている。
また、観光資源来訪者数については、計画値を達成できなかったが、平成30年度と比較すると、来訪者が増加している状況である。
- ・基本目標3「保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり」では、基本目標に掲げられている2指標で、いずれも実績値が計画値を上回った。
- ・基本目標3小計の達成度評価における、K P Iの達成状況については、平成30年度にC評価であった2事業がA評価となっており、A評価の割合が高くなった。
- ・基本目標4「自助・共助・公助の充実による安全・安心なコミュニティの形成」では、基本目標に掲げられている3指標のうち、「交通事故発生件数」及び「刑法犯認知件数」の2指標については、実績値が計画値を下回り達成しているため、達成欄に「○」と標記している。
- ・下段の「対前年度評価比較」は総合戦略に掲げられている全事業を数字で比較したものとなる。活動評価については、事業の完了などがあり、単純な前年度比較はしづらいが、全体で見ると、B評価及びC評価の数が減り、A評価が増えており、各課が事業目標達成に向け取り組んでいることが伺える結果となっている。
- ・達成度評価については、1事業にK P Iが複数設定されているものもあり、活動評価との合計数は合わないが、C評価が減少し、A評価とB評価の割合が増えている状況である。

2. 議 事

(1) 第2期八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

※関連資料：資料2・参考資料3

説 明

--- (資料2) -----

- ・「1. これまでの経緯」であるが、本市は、国の「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、人口減少対策の計画として、平成27年度に「八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、取組を進めている。
- ・当初の計画期間は平成31年までの5年間であったが、昨年度の本審議会及び庁内の創生本部において、総合計画の見直しと次期総合戦略の策定の時期を合わせることを目的として、計画期間を2年間延長し、令和3年度までの計画へ改定をしたところである。
- ・「2. 現状と課題」だが、総合戦略に位置付けられている事業は八潮市総合計画に位置付けのある事業であるため、事業内容が重複しており、進行管理についても総合戦略は効果検証で、総合計画は、実施計画と事務事業評価で二重に管理している状況である。
- ・そこで、「3. 第2期総合戦略策定のポイント」として、「(1) 策定手法」は、近隣や先行自治体の状況を確認した結果、大きく分けて「①総合計画に、第2期総合戦略を位置付ける」方法と「②第2期総合戦略を単独で策定する」方法の2種類に分けられる。
- ・昨年度公表されている、国の総合戦略策定手引きによると、「総合計画を見直す際に、見直し後の総合計画において人口減少克服・地方創生という目的が明確であり、数値目標やKPIが設定されるなど、総合戦略としての内容を備えている場合には、総合計画と一つのものとして策定することが可能」とされている。
- ・「3 (2) 国及び県の総合戦略との整合性」についてであるが、まち・ひと・しごと創生法において、「市町村は、総合戦略（国・県）を勘案して当該市町村の区域の実情に応じた総合戦略を定めるよう努めなければならない。」と規定されており、国及び県の総合戦略を踏まえたものとする必要がある。
- ・国及び県は、令和2年度から令和6年度までの5か年を期間とする、第2期総合戦略を既に策定していることから、これらを踏まえて本市の第2期総合戦略を策定することが望ましいと考えている。
- ・国の第2期総合戦略では、新たに「横断的な目標」が追加され、この中にSDGsやSociety 5.0、多様な人材活躍の推進などが掲げられたが、基本目標には大きな変更はなかった。
- ・以上を踏まえ、本市の第2期総合戦略は、『3.(1) ①総合計画に、第2期総合戦略を位置付ける』こととし、裏面「4. 第2期総合戦略策定方針」のとお

りとさせていただきたい。

- 「(1) 基本方針」は「総合戦略と総合計画は密接に連携していることや、これからは今まで以上に人口減少社会を見据えた対応が求められることから、第2期総合戦略は国及び県の第2期総合戦略との整合性を図りながら総合計画へ位置付けることで統合する。これにより、効率的かつ効果的な計画とし、将来に渡り持続可能なまちづくりを進めていく。」とさせていただき、総合計画の見直しに合わせて令和3年度に総合計画へ統合したいと考えている。
- 「(2) 基本目標」については、国及び県の第2期総合戦略の基本目標について大きな変更がなかったことから、本市の現総合戦略で掲げている基本目標を引き継ぐこととする。また、国の第2期総合戦略で新たに設けられた、SDGsなどの「横断的な目標」についても考慮しながら総合計画へ統合したいと考えている。
- 「(3) 進行管理（効果検証）」については、効率化を図るため、進行管理は「総合計画の実施計画と事務事業評価」を用いた進行管理に一元化することを考えている。
- 「(4) 計画期間」については、総合計画に位置付けるため、令和4年度から令和7年度の4年間とする。
- 「(5) 策定体制」については、本審議会と庁内の創生本部で審議を行う。併せて、総合計画へ統合するため令和3年度は、八潮市振興計画審議会においても審議が必要と考えている。
- 「5. 第2期総合戦略策定スケジュール（予定）」は、本審議会において、効果検証と第2期総合戦略の方向性について審議をいただいたのちに、令和3年1月に第2回となる庁内の推進本部を開催し、本審議会のご意見を踏まえて第2期総合戦略の策定方針（案）を付議し、3月までに策定方針を決定する予定である。
- 以上の、『資料2』について審議会の皆さまの承認をいただきたい。
なお、表決については、別紙『会議内容に関する意見等について』の下段部分で表決いただきたい。

---（参考資料3）-----

- 『参考資料3』は昨年度開催した本審議会の会議資料である。昨年度においても、第2期総合戦略の方向性についてお示ししていたことから参考に添付させていただいた。